

第二十回「心の花賞」決定

第二十回「心の花賞」受賞作

経塚朋子「高野」

正賞 賞状および『佐佐木信綱全歌集』

副賞 佐佐木幸綱色紙

選者賞 各選者の著書、記念品

選考委員（選者）

佐佐木幸綱、奥田亡羊、駒田晶子、田中拓也、俵万智

選考経過

①応募総数 八十一
②佐佐木幸綱、奥田亡羊、駒田晶子、田中拓也、俵万智の各選者が十編を選んで投票。票の入った三十編を予選通過作とした。その中から三編を選んで再投票し、得票の

あった九編を二次予選通過作（○印）とした。合議の上、二次予選で票が多く重なった四編（◎印）から、順位をつけて二編を選ぶ三度目の投票を行った。一票二点、二位票一点。最高の五点を獲得した経塚作を心の花賞と決定した。ちなみに古島作は四点、今泉作、水口作は三点だった。今回は新型コロナウィルスの影響で、議論、投票のすべてをメールのやり取りで行った。

予選通過作

- 安野ゆり子「エビリファイ9mg」
- 奥村知世「葉桜」
- ◎今泉摩美「まがなすぎがな」
- 植田真純「笑つて死んで行く日のために」
- 石田郁男「たんぼぼのお酒」
- 小澤法子「金色のちひさき爪」
- 梶間和歌「安全靴とラチェット」
- ◎経塚朋子「高野」
- 倉石理恵「樹木の呼吸」
- 山本枝里子「メイ・ストーム」
- 星野さいくる「囁ひかる」
- 佐藤博之「祝婚の赤」
- 服部崇「京都にて」
- 月丘ナイル「涙がキラリ」
- 福永昭子「真っ白なまま」
- 浜田ゆり子「家守の鳴く家」
- 安東礼子「あたらしき羽」
- ◎水口奈津子「声を聴くため」
- 大月閑「むらさきのこる」
- 小林賢太「真珠しろたへ」
- 桜望子「立ち上がる春」
- ◎古島信子「本を殺す」
- 森祐希子「がらあん」
- 御手洗靖大「ダイソーの祝儀袋」
- 関沢由紀子「キャンセルにあらさず」
- 志水千登世「鼻緒を結ぶ」
- 曲渕江里子「ランケ通り三十三」
- 新留紀代美「ひとしづく」
- 原ナオ「夜を待ちわぶ」
- 辻尾修「こころの遺産」